THE SUGGESTION
提言

中小企業組合総合研究所機関紙
2月1日
第133号（2017年）

発行所
一般社団法人 中小企業組合総合研究所
〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3-6-31 協同会館アソシエ2F
電話 06-6328-5577　FAX 06-6328-5588
URL http://www.kumiaisouken.com/

提言・約束事

1. 基本的には読者参加型の提言新聞とします。併せてニュース解説や話題を提供します。
2. 投稿の場合、社会規範に反するものは受付けません。原稿掲載はスペース等の関係もあり編集者の判断にお任せ下さい。

近畿生コン関連団体・合同新年互礼会
1/19 労使が一体となった業界再建に賞賛の声

関西生コン業界に新年の幕開けを告げる「2017近畿生コン関連団体・合同新年互礼会」が1月19日、ウェスティンホテル大阪（大阪市北区）で開催され、近畿一円の業界関係者を中心とする経営側と、共催28団体・協賛4団体、合わせて56団体9名が一堂に会し、賀詞交換のひと時を持った。昨年より、神戸地域を除く近畿地域で値戻しが進み、再建に向けての道筋がはっきりと示された生コン関連業界。今年はその流れを受け、神戸地域の取り組みに期待が寄せられたほか、各界来賓からは、近畿各県での中小企業による連帯経済運動の前進に賞賛の声が相次いだ。



【実行委員長挨拶】
組合総研 代表理事　武 建一



昨年から、利害を越えて労使が一緒になって、業界発展のために多くの取り組みをした。

2月には戦争法案粉砕を掲げて、1300人規模の決起集会。そして、神戸以外の近畿の各地域では協同組合が団結をし、値戻しに成功した。これは厳しい状況の中、競争をせずに共生協働の原理で一致しているからだ。

大阪広域協は、3協組が合併して値戻しが進んでいるが、まだ改善して欲しいことがいくつかある。これまでの労組との約束を形にすることが信用に繋がる。

安倍政権が行なう大企業と一部特権階級のみが肥え太る経済政策を否定し、中小企業の振興・育成と労働者の生活権を向上させる政治に変えていくことによって、経済の好循環を作りだしていくことが可能な時代にきている。今年はそのようなテーマを皆さんと共有できれば幸いだと思う。

【開会挨拶】
組合総研 理事長　髙井 康裕



酉年は変化の年でもあります。世界は、不透明、不確実、不安定な時代への幕開けになるような気がしてなりません。飲み込まれないよう、自身が信念を持って生き抜くことだと考えます。

さて、組合総研は皆さまの協力により、本年も業界に貢献し、「提言」の発行を通じて社会情勢や業界の動きを適格に捉え、皆さま方に資する新しい情報を発信してまいります。また、マイスター塾やセミナーなどで、業界を発展させる人材を育成し、豊かな人間性を育む内容を充実していきたい。そして、歴史教養ツアーでは、内容をより良く検討してまいります。大阪広域協の大同団結が進み、軌道に乗った感がありますが、共生協動、相互扶助の理念で成果を確実にしなければなりません。

【来賓の祝辞から】
大阪労働学校・アソシエ
学長　本山 美彦



何が起こってもおかしくない、大変な時代になっています。こういう時こそ、立場の違いを超え、考え方の違いを超えて、相互に深い信頼で結びつかなければなりません。温故知新という言葉がございますが、古い理論にもう一度立ち返って、そして新しい理論を作りだしていく。そのためにもお互いが信頼しきるということが大事だと思っております。

元衆議院議員　服部 良一



世界の8人の資産家の資産と、世界の36億人の資産が同じだと報道されておりました。富の公正な分配をする、そういった世界的な政策が今こそ求められている時だと思います。

今年は、衆議院選挙があると思います。我々4党で協議をし、候補者の一本化と統一した政策を皆さん方にご提示させていただき、実務者会議をスタートさせております。衆議院選挙になんとしても勝利をして、日本の政治を変えていくために、皆さま方とも力を合わせて頑張ってまいります。

元大阪市長　平松 邦夫



貧富の格差が今までにない規模で広がりつつありながら、安倍政権の支持率が非常に高いということに驚いています。政治というのは人の命や暮らしをきちんと守り、多くの人たちの幸せを目指してこそ政治家です。そういった政治の根本を見直すには、今年中にあるという解散総選挙に、反自民、反公明、反維新の人たちで小選挙区において勝利することです。共生協働の旗印の下、前に進まれることをお祈りします。

ソウル宣言の会
代表　若森 資朗



昨年は、近畿の皆さんと、GSEFモントリオール大会に参加しました。競争と分断と環境破壊の市場経済は、もうダメだという雰囲気が全世界に満ちていることを感じました。今ある環境を悪化させずに、有効に活用する形の経済を作っていかなければと、世界の仲間と確認をいたしました。特にヨーロッパでは、社会的連帯経済の取り組みはかなり進んでおり、若い世代の参加が目立ちます。日本でも、若い人たちに参加していただくような活動を強化していきたい。

2018年には、スペインのビルバオで大会があります。皆さんがご苦労をされてきたこれまでの関西の労使の取り組みを、良い形でご報告していただけたらと思います。

お悔み申し上げます

一般社団法人中小企業組合
総合研究所・顧問　和田 貞夫



和田貞夫（わださだお）、一般社団法人中小企業組合総合研究所・顧問、元衆議院議員、元通産省政務次官、全国中小企業団体連合会・会長、大阪中小企業経営センター・理事長、日越関西友好協会・常任顧問（前理事長）が、九十二歳十ヶ月という高齢もあり、かねてより病気療養中でありましたが、薬石の効なく十二月十八日ご逝去されました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

なおご葬儀は故人の意思により十二月二十一日近親者にてしめやかに執り行われました。

組合総研・顧問であり、マイスター塾・塾長を第一期から務められ、毎年、開講式当日に自らも講師として「道徳」の講義を持たれていました。

現在の道徳教育から生活者としての道徳性や、経営者も労働者も社会的に果たすべき責任を持つ必要性を講義されました。知識だけを学ぶのではなく、仕事に対する姿勢、そして人として成長していただきたいとよく話されていました。

さらに内容を高度にして中級コースの創設に努力され、今年で中級コースは三期目を迎えます。和田顧問の思いはマイスター塾塾生のエネルギーとなり、経営発展の役割を担う人材となって活躍されています。

改めて今春に「お別れ会」を予定されることとなりました。



マイスター塾塾長としてご活躍された

季折々　四如月に思う

平　成二十九年　新春を迎え、早や如月。月日の移ろいの早きを感じ、年月を重ね、齢七十七歳に思う事。

親　兄弟、子、家族といえども、人、それぞれの人生を歩む。そこには、悔悟・自責・挫折・失敗・成功と、幾重にも積み重ね、楽、苦、喜怒哀楽。自身を見つめ直した時、波乱万丈の、いばらの道を歩いて来た。これから、新たな光明を見つける旅をしたい。

我　が家の、小さな庭の山茶花の生垣に、一本の寒椿か、緑の額と紅の蕾が、厳寒の冬に耐えて、今にも、真紅の花びらが、春を待ち遠しく、開かんと、時を待つ。

鮮　やかな、一輪の花びらの盛りを過ぎて、落ち行く姿を見る時、静かなる寂しさを感じる。美しく、ひらひらと舞い落ちる花を、華やかに思うのか。各々、人の心の奥に潜む、深奥のあるものが何であるか、見極める己が心に聞く、今の心境であります。

暗　中模索の内に、時が流れて行く。大輪でなくとも、充実した、小さい幸せを感じる、素晴らしい、華のある、人生としたい。

（髙井 康裕）

淀川の町（大阪西部）の地歴探訪(6)

大阪労働学校・アソシエ工学長　本山美彦

大阪と淡路（2）

宗教戦争と石山本願寺

「浪速」、「難波」というのは、古くからの大阪の呼び名「ナニハ」に宛てた漢字である。仁徳・高徳・聖武天皇時代の都であったが、隆盛を極めた都市ではなかったらしい。大坂が栄えるようになったのは、明応五年（一四九六年）に本願寺第八世宗主の蓮如（れんにょ）が、現在の大阪城の地に石山別院を置いた時からであるとされている。

石山別院が石山本願寺という「本山」（ほんざん）になったのは、第一〇世の証如（しょうにょ）の時代である。

当時の大教団が戦乱の世に巻き込まれていた事例を証如に見よう（多くの教団が似たような行動を取っていた。けっして証如だけを批判してこの文を書いているのではない）。



証如は、永正三年（一五一六年）二月二三日。西暦換算）生まれで、まだ幼い時に、貴族勢力との安定した関係を図るために、大永七年（一五二七年）、当時の関白・九条尚経（くじょう・ひさつね）の猶子（ゆうし＝法的な効力のない名目上の親子になること）となって、青蓮院で後奈良天皇の弟・青蓮院宮尊鎮法親王（しょうれんにんのみや・ほうしんのう）を師として得度、翌年、わずか一〇歳で第二世宗主になる（祖父一〇世の逝去のため）。この戦国時代の一時期、日蓮宗が京都を席巻していた。



天文（てんもん）年間（一五三二～五五年）、京都では六条本圀寺（ろくじょう・ほんこくじ）を中心に、日蓮宗の信仰が町衆に浸透し、強い勢力を持っていた。天文元年（一五三二年）、日蓮宗徒の町衆が、細川晴元らの軍勢と手を結んで本願寺教団の寺院を焼き討ちした。当時、山科に土塁に囲まれた伽藍（がらん）と寺内町を構えていた山科本願寺は、この焼き討ちで全焼した（山科本願寺の戦い）。法華衆は京都市中の警衛などにおける自治権を得て、約五年間にわたり京都で勢力を拡大した。こうした法華衆の勢力拡大を、ほかの宗派の立場からは「法華一揆」と呼んでいる。

山科本願寺を追われた証如は、居所を大坂の石山別院（大坂御坊）に移して大坂本願寺とし、新たな教団の本拠地とした。



石山本願寺跡

証如は貴族・戦国大名との姻戚関係を深めることによって、教団の政治的位置の安定を図ったように思われる。戦国時代を生き延びるためには、やむを得ないことだったのだろうが、宗教も政治情勢から超然とすることは不可能だったのだろう。

細川晴元は、当時の左大臣・三条公頼（さんじょう・きんより）の長女を妻に迎え、さらに、公頼の三女を養女にした。そして、その養女を証如は自分の長男と婚約させて、晴元との和睦（わぼく）を果たしたのである。因みに、武田信玄も公頼の次女と結婚している。

天文五年（一五三六年）の夏、延暦寺の僧兵集団と法華衆とが衝突した。延暦寺は、僧兵、宗徒、近江の大名・六角定頼（ろっかく・さだより）の軍隊など総計約六万人を動員して京都市中の日蓮宗二一寺院をことごとく焼き払った（天文法難）。

延暦寺の勢力が放った火が大火を招き、京都は下京の全域を焼失した。兵火による被害規模は応仁の乱を上回るものであったと言われている。

こうして隆盛を誇った京都の法華衆は壊滅し、法華衆徒は洛外に追放された。以後六年間、京都において、日蓮宗は禁教となった。

沖縄はいま

報告：連帯労組関生支部　弘田孝明

隧落を不時着と言い張る政府

昨年12月13日夜、アメリカ海兵隊の輸送機オスプレイが名護市安部（あぶ）沿岸で墜落事故を起こした。オスプレイの機体は3つに分解され、墜落の衝撃を物語っている（写真）。


撮影：大袈裟太郎

政府の発表の「不時着」を鵜呑みにして書くメディアがほとんどだが、現場を見れば「墜落」としか考えられない（沖縄の2紙はしっかり「墜落」と書いている）。なぜ政府は国民の命より、アメリカの言いなりに発表するのか。ニコルソン在沖米四軍調整官は、民家に落ちなかったことに対してパイロットを褒め称える発言さえしている。墜落現場は米軍の指揮下に置かれ、立ち入り禁止のロープが張られている。その外側で沖縄県警や海上保安庁は捜査もできない状態で、警備に就かされている。

米兵が事故や事件を起こしても、日本側には一切の捜査権は与えられていない。日米地位協定の恐ろしさを間近で感じさせられる。米兵は笑いながら残骸を集めたり、記念写真を撮ったりしている。解体作業で海を汚しても、日本は抗議の声も上げられない。逆に米兵が警察に指示をしている。本当ではフロート（浮具）の設置作業が進んでいる。これは反対する人たちを近づけさせないためだ。毎日、抗議を行ない、フロート作業を止めるように訴えても、100人近い海上保安庁職員が、県民や国民の声を奪おうと構えている。

本来、中立の立場のはずの海上保安庁が一政府の言いなりになり、国民弾圧をしている。日本も独裁国家になりつつある。国に逆らう者は不当逮捕し、抗議行動を潰そうとしている。沖縄平和運動センターの山城博治議長を含む3名が逮捕され、何ヶ月も釈放されない状態が続いている。

平和を求め、二度と戦争を繰り返さず、平和な世界を目指している人が、なぜ逮捕されなくてはならないのか。いつまで武力で人を押さえつけ、国民が犠牲にならなくてはならないのか。辺野古に基地が作られるということは、ただ単に新しい基地が一つ増えるということではない。戦争の準備が着実に進み、71年前のように沖縄がまた犠牲になるということだ。また沖縄が標的になるということに繋がる。

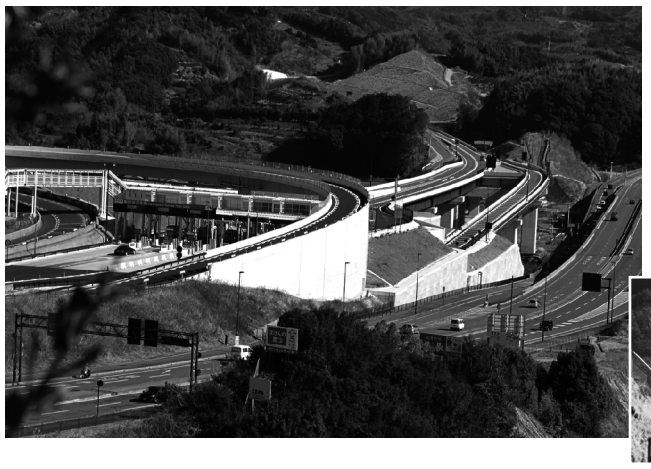
戦争がおこり、声を上げることが手遅れになる前に、今こそ確かな団結を。沖縄だけの問題ではなく、今後、日本各地で同じことが行なわれ、国民中心の平和な生活ができなくなる前に、一人ひとりが立ち上がろう。国民の事を考えない政府に対して声を上げよう。

連合・交通労連関西地方総支部
生コン産業労働組合　労供事業部
JFT
募集
協力会社
優良運転手
生コン産労組合員として労働者供給事業による日々雇用です。
TEL 06-6444-0101
FAX 06-6444-0942
〒550-0001
大阪市西区土佐堀1丁目6番20号
新栄ビル２Ｆ

近酸運輸株式会社
代表取締役　岩永光雄
〒550-0021
大阪市西区川口二丁目四番二号
電話（〇六）六五八三―八七七一
ＦＡＸ（〇六）六五八三―八七七五

吉野建設株式会社
代表取締役　中坂浩國
〒651-0077
神戸市中央区日暮通五丁目四―四
電話（〇七八）二三二―二八〇一
ＦＡＸ（〇七八）二三二―二三〇九

株式会社ティーワイケイ高槻生コン
代表取締役　門田哲郎
〒569-1012
大阪府高槻市大字成合百三十三番地の四
電話（〇七二）六八八―七九〇〇
ＦＡＸ（〇七二）六八八―七九〇一





近畿自動車道紀勢線の一部となる紀勢自動車道、南紀田辺IC～南紀白浜IC間（延長:14km）が平成27年7月12日に開通して、白浜の旅がますます便利になりました。観光シーズンの渋滞緩和や災害時の代替ルートの役割も担う。

写真左（上:南紀田辺IC、下:南紀白浜出口標示）

写真右（田辺スポーツパーク）



人に優しい環境を目指して 安定品質 安定供給

中紀生コンクリート協同組合
7社5工場 代表理事 中山道雄
有田郡有田川町上中島733-1 TEL.0737-52-4326 FAX.0737-52-6443

オレンジ生コン㈱ 広川工場
2社：㈲広川・中紀生コン㈱
有田郡広川町前田699-6 TEL.0737-63-4874 FAX.0737-63-2036

オレンジ生コン㈱ 清水工場
2社：清水生コン㈱・大平コンクリート工業㈱
有田郡有田川町清水803-1 TEL.0737-25-1168 FAX.0737-25-0175

有田生コンクリート産業㈱
有田市山田原107 TEL.0737-83-2451 FAX.0737-83-2453

東亜生コン㈱
有田市初島町里601 TEL.0737-83-5588 FAX.0737-83-4864

㈲中屋生コン
有田郡有田川町修理川287 TEL.0737-32-2397 FAX.0737-32-4045

日高地区生コンクリート協同組合
6社6工場 代表理事 丸山克也
御坊市湯川町財部東新田1057-2 TEL.0738-23-1281 FAX.0738-23-4367

㈲印南生コンクリート
日高郡印南町古井188-1 TEL.0738-45-0231 FAX.0738-45-0120

日高生コンクリート㈱
御坊市塩屋町北塩屋676 TEL.0738-22-1286 FAX.0738-23-4362

㈱山久由良生コンクリート工業所
日高郡由良町江の駒448-6 TEL.0738-65-1133 FAX.0738-65-1431

中津産業協同組合 中津生コン
日高郡日高町高津尾1606-1 TEL.0738-54-0339 FAX.0738-54-0714

㈱セイシン・レミコン
日高郡日高町志賀岩戸4339-1 TEL.0738-65-1777 FAX.0738-65-0395

美山生コンクリート㈱
日高郡日高町皆瀬375 TEL.0738-56-0344 FAX.0738-56-0344

紀南生コンクリート協同組合
11社4工場 代表理事 丸山博之
西牟婁郡上富田町南紀の台4-24 TEL.0739-47-1464 FAX.0739-47-1437

口熊野生コンクリート製造㈲
西牟婁郡白浜町保呂1 TEL.0739-45-1533 FAX.0739-45-1323
6社：ワシン建設㈱・㈱宮脇組・紀伊生コン㈱・田辺小野田レミコン㈱・㈱下野商店・田辺生コンクリート工業㈱

南紀田辺生コン有限責任事業組合 きのくに生コン
2社：㈱丸山組・富田川生コン㈱
田辺市下三栖1475-105 TEL.0739-25-9303 FAX.0739-24-2777

南部生コン工業㈱ 2社：南部生コン工業㈱・㈲西村砂利
日高郡南部町気佐藤657 TEL.0739-72-4314 FAX.0739-72-5728

㈱清本組
西牟婁郡上富田町朝来1885 TEL.0739-47-2799 FAX.0739-47-5991

橋本・伊都生コンクリート協同組合
4社1工場 代表理事 上田純也
橋本市学文路191-2 TEL.0736-33-0131 FAX.0736-33-0132

ニューリンクコンクリート㈱
橋本市神野々1224-1 TEL.0736-26-7573 FAX.0736-26-7581

4社：南海砂利㈱第一生コンクリート工場・紀北生コン㈱・㈲橋本生コン・㈲紀見生コン

紀北生コンクリート協同組合
11社4工場 代表理事 中西正人
紀の川市尾崎92-1 TEL.0736-77-3005 FAX.0736-77-5768

㈲紀北東生コン かつらぎ工場
伊都郡かつらぎ町島337-2 TEL.0736-22-1293 FAX.0736-22-6974

㈲紀北東生コン ねごろ工場
岩出市根来782 TEL.0736-69-0730 FAX.0736-69-0731

㈲紀北西生コン 貴志川工場
紀の川市貴志川町前田37 TEL.0736-64-3755 FAX.0736-64-4208

大弘建材㈱ 貴志川工場
和歌山市三尾968（大東陽） TEL.073-465-4558 FAX.073-465-4559

10社：アートコンクリート工業㈱・㈲三星・㈲エスエヌ工業・大東コンクリート㈲・㈱TCK・東和コンクリート㈱・㈱那賀生コン・中西建材工業㈱・桃山生コン㈱・合資会社モリタ

和歌山県中央生コン協同組合
11社6工場 代表理事 大江英昭
和歌山市西浜1660-291 TEL.073-444-1211 FAX.073-444-2374

海南ベイコンクリート㈱
2社：環産業㈱・内海生コンクリート㈱
海南市冷水325-46 TEL.073-484-3183 FAX.073-484-3183

大弘平和共同プラント㈱
3社：大引建材㈱・杉山産業㈱・和歌山共同建材㈱
和歌山市湊1342-4 TEL.073-427-6006 FAX.073-427-6776

㈱大東陽
3社：㈱大東陽・第一生コンクリート㈱・紀ノ川大阪生コンクリート㈱
和歌山市三尾968 TEL.073-477-1171 FAX.073-477-1383

㈲紀州生コン
和歌山市松原394 TEL.073-479-0740 FAX.073-479-2933

㈱酒直レミコン
和歌山市湊1334 TEL.073-431-1388 FAX.073-431-1390

㈱上山商店 琴の浦生コンクリート
和歌山市毛見1436 TEL.073-445-5111 FAX.073-445-3666

鷲熊生コンクリート協同組合新宮支部
3社4工場 支部長 日々野勝良
新宮市新宮2314-3 TEL.05979-3-0070 FAX.05979-2-2122

岡本土石工業（株）新宮工場
新宮市南桧杖519-1 TEL.0735-21-2441 FAX.0735-21-2441

㈱日比野生コン新宮工場
新宮市相賀695-2 TEL.0735-29-0311 FAX.0735-29-0312

㈱日比野生コン勝浦工場
東牟婁郡那智勝浦町湯川897-103 TEL.0735-52-5515 FAX.0735-52-6777

セントラルコンクリート㈱
新宮市熊野川東敷屋278 TEL.0735-47-8222 FAX.0735-47-8223

和歌山県生コンクリート協同組合連合会 会長 中西正人

〒640-0411 和歌山県紀の川市貴志川町前田37
TEL・FAX 0736-64-0180

急言緊提　核兵器システム副成物としての原発の成り立ちと、謎の米国人脈

原子力発電の体制下でうごめく大きな闇の存在。いわゆる原発マフィアについて驚きの事実を記した著書がある。『天皇のロザリオ』などの数々の歴史書で、昭和天皇の戦争責任などを世に問うた戦後史研究家の鬼塚英昭氏の『黒い絆 ロスチャイルドと原発マフィア』（成甲書房）がそれだ。

副題に「狭い日本に核プラントが54基も存在する理由」とする同書は、原発利権を享受し、旗を振り続ける国内報道機関の話題にすら出来ないような、触れてはならない禁書であり、書評にも一度も取り上げられていない。ひたすら彼らは知らぬ顔を決め込む。

だがその書は、冒頭から「私はこれから原子力発電所、否、核兵器製造工場のことについて書くことになる」といきなり刺激的な言葉が続く内容で、理解にはかなりの努力も忍耐も必要だ。だが、反原発を志す市民を中心に読者層は確実に広がる。

同書では、原発とは核の平和利用という生易しいものではないと判る。「原爆」という人類最凶の兵器の製造工程でどうしても生じてしまうウラン・プルトニウムなど化成ゴミを捨てずに利用する仕組み、原爆製造の川下部分を担う位置づけこそ、原発というものの役割だったのだ。

原爆と原発。それらは、無理強いされいる例にも似ている）

これまでの原子爆弾開発に関して抱いていた多くの定説と神話が、同書でことごとく覆される。その一つ、原爆開発に関して、1939年にA・アインシュタインが時のF・ルーズベルト大統領に書簡を送り、ナチスドイツよりも早く原爆製造を説いたとする定説。それを否定する人物こそ原爆と原発の生みの親だと指摘する。

強欲資本主義の代表的存在 ロスチャイルド人脈から



連載③

全日本港湾労働組合関西地方大阪支部 山元一英顧問「支部結成40年に寄せ」

別掲の歴史に見る通り、朝鮮戦争前後の労働運動史の中でも、全港湾組織活動はひときわ異彩を放った。それは国内外の荷役を一手に引き受けるという基幹産業ならでは重みが見てとれる。そこでのストライキを含む闘争スタイルが、いかに時の政権を神経質にさせたか。流通・食糧に関わる3つの省庁が、労働側要求に正面から向き合い、懇談の場をもつなど、現在では考えられない程の誠実な態度だったのがその証しだ。山元顧問が結成した小さな会社の労組が、いかにこの巨大組織にまで行き着くのか。組合結成時のエピソードから聞いてみた。

――いよいよ組合結成、いわゆる公然化への道筋になります。

山元　まず職場にどのような不満があるのか、それを何人かで共有することから始まりでね。

――最初は5人からという事で。

山元　この会社への不満を出し合うという事で毎週または隔週の土曜日で昼飯を（一緒に）…。午前中で終わったので。

――当時は、半ドン（土曜半休）の頃でした。

山元　食事をしながら改善への要求づくりのようなものをまとめると。まず切り出しは、皆しんどいとかの確認だったが、何よりあからさまな賃金の低さ。これはもう全員の共通認識です。当時の港湾労働者平均の6割から7割くらいで。

――誰もが認める低賃金だったと。

山元　それと作業に必要な、作業服や手袋。これらは最低限の必需品まで毎年定期には支給されない。入った時に作業服一着だけあてがわれたものの、ボロボロになろうが支給はない。

――新しくするには、自弁でしろという事ですか。

山元　手袋なども全て自分で買わなければいけないと。「毎日の消耗品を支給せよ」との要求が第一だった。産業全体は当然、各自に支給が当然だったので。つまりは当然のことが出来ていない会社であったという実態でね。時金の査定も、基準が何なのかはっきりしない恣意的（上長の思惑次第）なものだった。

――現場監督のえこひいき的な？

山元　そう、（そんな）査定制度自体を止めろと。仲間の意見では、査定を止めるのか、もっと合理的で納得のできる査定を求めるという事で。さらに一時金を貰うと、一割は社内貯蓄で天引きされてしまう。

――天引きですね？

山元　普通そんな社内貯蓄であれば、他より高い設定をしなければならないのに、無理強いしているのだから。そんな安い時金なら手取りで貰いたいと。退職まで貰えない社内貯蓄制を廃止せよと。

――その他、作業の危険性だとか重労働性に対する意見などは？

山元　それは勿論の課題だったし、仕事が終わってから、労働者の質向上とかの名目で、会社側の労務士みたいな存在に講習を受けさせると。この講習が会社の強制でありながら、時間給を出さない。要するに任意ではなくて強制なのに、残業代も出さないという不合理が。せよと。もしくは任意でというならば…

（左上へ）





全国1万2千人の大組織 産別労組の雄「全港湾」

大阪支部40年の道

全港湾＝港湾・トラック・倉庫・関連企業などに働く労働者が集まった、海陸一貫輸送を担う産業別労働組合で、前記の事業を中心に、1万2千名が結集する“全国単一組織”の組織形態をとる。組合員が企業から不当な仕打ちを受けた場合、それは全港湾全体に対する攻撃であり、全国すべての組合員がその企業に対して反撃する権利を有する。

連載③　全日本港湾労働組合関西地方大阪支部 山元一英顧問「支部結成40年に寄せ」

別掲の歴史に見る通り、朝鮮戦争前後の労働運動史の中でも、全港湾組織活動はひときわ異彩を放った。それは国内外の荷役を一手に引き受けるという基幹産業ならでは重みが見てとれる。そこでのストライキを含む闘争スタイルが、いかに時の政権を神経質にさせたか。流通・食糧に関わる3つの省庁が、労働側要求に正面から向き合い、懇談の場をもつなど、現在では考えられない程の誠実な態度だったのがその証しだ。山元顧問が結成した小さな会社の労組が、いかにこの巨大組織にまで行き着くのか。組合結成時のエピソードから聞いてみた。

――いよいよ組合結成、いわゆる公然化への道筋になります。

山元　まず職場にどのような不満があるのか、それを何人かで共有することから始まりでね。

――最初は5人からという事で。

山元　この会社への不満を出し合うという事で毎週または隔週の土曜日で昼飯を（一緒に）…。午前中で終わったので。

――当時は、半ドン（土曜半休）の頃でした。

山元　食事をしながら改善への要求づくりのようなものをまとめると。まず切り出しは、皆しんどいとかの確認だったが、何よりあからさまな賃金の低さ。これはもう全員の共通認識です。当時の港湾労働者平均の6割から7割くらいで。

――誰もが認める低賃金だったと。

山元　それと作業に必要な、作業服や手袋。これらは最低限の必需品まで毎年定期には支給されない。入った時に作業服一着だけあてがわれたものの、ボロボロになろうが支給はない。

――新しくするには、自弁でしろという事ですか。

山元　手袋なども全て自分で買わなければいけないと。「毎日の消耗品を支給せよ」との要求が第一だった。産業全体は当然、各自に支給が当然だったので。つまりは当然のことが出来ていない会社であったという実態でね。時金の査定も、基準が何なのかはっきりしない恣意的（上長の思惑次第）なものだった。

――現場監督のえこひいき的な？

山元　そう、（そんな）査定制度自体を止めろと。仲間の意見では、査定を止めるのか、もっと合理的で納得のできる査定を求めるという事で。さらに一時金を貰うと、一割は社内貯蓄で天引きされてしまう。

――天引きですね？

山元　普通そんな社内貯蓄であれば、他より高い設定をしなければならないのに、無理強いしているのだから。そんな安い時金なら手取りで貰いたいと。退職まで貰えない社内貯蓄制を廃止せよと。

――その他、作業の危険性だとか重労働性に対する意見などは？

山元　それは勿論の課題だったし、仕事が終わってから、労働者の質向上とかの名目で、会社側の労務士みたいな存在に講習を受けさせると。この講習が会社の強制であり、時間給を出さない。要するに任意ではなくて強制なのに、残業代も出さないという不合理が。せよと。もしくは任意でというならば…

（左上へ）

組合結成は、わずか5人からの出発 誠意と力ある上部組織求め

山元　強制は一切するなとかで大方の意見はまとまったと訳です。仕事への不満を見つめて要求を出したと。

――要求書づくりや文書に関しては、自然と顧問に役回りが。

山元　それもあったけれど、組合を真に作った時には、ものすごく攻撃あることは十分見えていたので、労働に関する基本的な勉強をしようという事では率先して仲間を誘った。組合を結成して、労働基準法ではどうなっているのか。例えば、解雇とか不当労働行為とかについて事前に学習という事で、まず仲間5人によびかけて…。

山元　それは組合なのか知らない、不安感もあって、まずは在していなかったという事ではなく、不当労働行為などという言葉もピンと来る人はいなかったのでは？

山元　それらも全て自分で勉強して身につけた訳で、当方が提起して。ただ、意識を持っている人と、そうでないのとでは全然違うので、当然その伝え方には苦労があった。

――そんな基本の苦しみの時に、力を貸してくれた組織であるとか、参考文献などはどのような？

山元　その時は、全港湾に加盟しようという意識はなかった。産別などではなく、最初、企業内での労組として行きたいと。外の組合に対しては、どんな組合なのかも知らない、出て行くのも不安感もあって、まずは企業内からでという所から始まった。しかし、5人しか集まらず、このままの組合など、色々見てしまって。3つぐらい回って、ようやく水沼（笑）。事務所にも人気のないそんな組合は活発じゃない。建前だけの組合やダラ幹旗揚げしてしまうと、会社の攻撃を受けて潰されたまま当時の関西生コン支部の前に、新四国海運という立派な港湾労組メンバーと行き当たって。そこに相談をという事になった訳です。

――これは行けるとの確信が。

山元　5人では難しいとの指導があって、そこから多数派工作を本格化する事に。だがその時分から管理職たちが、何か社内でおかしい動きを感じ始めて…。

（次項続く）

説解　港湾産別労組と労働運動――戦前から戦後への歴史③　山元一英氏論考による

1950年7月／日本労働組合総評議会（総評）結成

9月／大阪船舶支部、ジェーン台風での組合員死亡への労災補償「雨降れば休暇闘争」始める

10月／労働省斡旋第1回労使懇談会

1951年2月／日本共産党第4全協で武装蜂起方針

3月／港湾大阪地本「全面講和・再軍備反対平和懇」国労・大教組と開く

3月／総評第2回大会再軍備反対など平和4原則

6月／港湾第6回定期大会で警官立会強要に抗議決意を採択

9月8日／対日講話条約・日米安全保障条約調印

10月／講話・安保条約賛否巡り社会党左右分裂

1952年2月／大阪地本、団体規制法でスト権の確立

5月／第23回メーデー。皇居前広場で警官隊と激突。死者、重軽傷者多数

6月／港湾第7回定期大会で総評加盟決定

10月／炭労大手無期限スト17社で61日間闘争

1953年1月／全国港湾荷役振興協議会設立

2月／港湾「港湾労働法（案）」を発表

3月／吉田首相の「バカヤロー解散」

6月／港湾第8回定期大会で沖縄の日本復帰を決議

7月27日／朝鮮戦争休戦協定、板門店で結ぶ

9月／阪神港湾労組懇談会

1954年5月／港湾第9回定期大会で「原水爆禁止と国際管理に関する決議」採択

5月／ベトナムがインドシナ解放戦争で対仏勝利

6月／防衛2法の公布で自衛隊が発足

7月／阪神港湾労組連合結成大会

2017年2月25日(土) PM3:00開演
渡辺千賀子ソプラノリサイタル
美しい調べ

会場：ムラマツリサイタルホール（新大阪）
主催：渡辺千賀子リサイタル実行委員会
入場券　一般：¥5,000（全日由席）
チケット前売り　渡辺千賀子MUSIC事務所
0595－63－8734

一般社団法人
大阪兵庫生コン経営者会
会長　藤中昌則
〒530-0001 大阪市北区梅田一－一－三 大阪駅前第3ビル 4F5
電話（〇六）六三四七－五四二一
FAX（〇六）六三四七－五四三三

株式会社スズキケンセツ
代表取締役　鈴木貞雄
〒573-0012 大阪府枚方市禁野本町二－一七
電話（〇七二）八五八一－四二九
FAX（〇七二）八五九一－二九三〇

株式会社コーイキ輸送
代表取締役　海老鼻康三
〒533-0022 大阪市東淀川区菅原四丁目六番四号
電話（〇六）六三二五－八八二五代
FAX（〇六）六三二五－八八二八

昭和産業株式会社
代表取締役　矢倉完治
〒598-0034 大阪府泉佐野市長滝三六四七番
電話（〇七二）四六一－〇〇〇七代
FAX（〇七二）四六一－二一五〇

交運労協　生コン産業政策協議会
全日本建設運輸連帯労働組合 関西地区生コン支部
執行委員長　武建一
〒550-0021 大阪市西区川口2-4-28 TEL06-6583-5546 FAX06-6582-6547
連合・交運労連関西地方総支部 生コン産業労働組合
執行委員長　北小路敏樹
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-6-20-205 TEL06-6444-0101 FAX06-6444-0492
全日本港湾労働組合 関西地方 大阪支部
執行委員長　樋口万浩
〒552-0021 大阪市港区築港1-12-27 TEL06-6575-3131 FAX06-6575-3134

近畿生コンクリート圧送協同組合
近圧協
〒533－0032
大阪市東淀川区淡路3-6-31
協同会館アソシエ2F
TEL 06-6328-3900　FAX 06-6328-3901

地域NEWS業界

1/9　近圧労組 勉強会&新年会

近畿コンクリート圧送労働組合（桑田秀義 執行委員長）は1月9日、大阪市阿倍野学習センターで勉強会を行なった。外部講師を招き「圧送の専門的知識」を勉強した。

勉強会終了後、会場を移して新年会が行なわれ、桑田委員長は「今年も厳しい年になると思いますが、組合員が団結をして乗り切ろう」と挨拶。来賓挨拶では全日本建設交運一般労働組合関西支部・岡元貢道副問が「労働者や中小企業の権益を守るために、そして未来を大いに変えていくために、圧送労組と一緒になって頑張って行きたい」と話した。

新年会には60名が参加し、最後は佛願副委員長による「団結がんばろう！」で一年のスタートを力強く切った。



1/11　生コン産労 年賀会

り返り、被災者にお見舞いの言葉を述べた後、「本年は結果の見えた確定利益と、将来の期待値のある新展開のどちらを選ぶのか迷う一年になる。今までの業界の取組みが大きな成果となって花開くのか、それとも、一部の人間のエゴによって水泡に帰すのか、将来を決する重要な年だ。

自己主張を通し他人の不幸の上に自己の幸福を築く様な対立の構図ではなく、対話により互いを尊重しあえる様な相互扶助の波を産労より起こし、非寛容の流れを打ち破っていく」と今年の決意表明を行なった。



1/14　連帯労組 新春旗びらき

全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部（武建一 執行委員長）は1月14日、大阪市北区のホテルNCBで連帯労合同による「2017年新春旗びらき」を開催。来賓を含め370名が来場し新年を祝った。

武執行委員長は「昨年は労使が『共生・協同』の理念で一致し、近畿二府四県で（一部の地域を除く）生コン単価の値戻しに成功した。今年はさらに生コンの値上げを実現させ、生コン輸送・バラセメント輸送の運賃を引き上げる。そして今春闘では賃上げはもちろんのこと、乗務員の本勤化を強く求める。さらに、継続して辺野古新基地建設反対闘争にも取り組む。原発再稼働反対、TPP阻止などを掲げて闘い、行き詰まった安倍政権を打倒する。経済・産業の民主化に全力を尽くしつつ万余の組織拡大と、ストライキはじめ大衆闘争で勝利の道を切り拓く」と今年にかける決意を表明した。

来賓の辻元清美衆議院議員や福島みずほ参議院議員からは、労働運動の最前線で闘う連帯労組にエールを送られた。

1/14　全港湾大阪支部 2017年新春旗開き

全日本港湾労働組合関西地方大阪支部（樋口万浩 執行委員長）は1月14日、ホテルクライトン新大阪（大阪市淀川区）で、来賓、組合員など約130名を集め、「2017年新春旗開き」を開催した。

大阪支部青年部による「港湾労働歌」のコーラスがオープニングを飾った後、昨年の第40回定期大会で新委員長に就任した樋口委員長が年頭挨拶を行なった。

続いて来賓の民進党・辻元清美衆議院議員、社会民主党・福島瑞穂参議院議員、労組代表として生コン関連労働組合連合会より本多裕重代表の3名が挨拶を行なった後、大阪港湾労働組合・佐藤文昭書記長の乾杯の音頭となった。

和気あいあいの懇親の時間の後、國分副委員長の閉会挨拶、樋口委員長の「団結ガンバロー」で会を締めくくった。



ソウル～モントオール宣言実現への道筋

社会的経済の創造に向け具体的一歩を踏み出そう

桃山学院大学名誉教授　津田直則



社会的連帯経済とはいかなるものか、それを実現する道筋をどう構想するのか、それは世界に渦巻く不満と不安を乗り越える人びとの希望をつなぐものなのか。ソウル～モントリオール宣言と社会的連帯経済運動のこれからを考えるために、研究者、実践者、労働運動化の話をまとめた。（大野和興）

◆社会的経済とは

新自由主義に基づくグローバリゼーションは少数者への富の集中をもたらし、膨大な貧困層を生み出しました。

同時に、この流れに対抗する国際的な社会的経済の運動が広がっています。2014年のソウル、2016年のカナダ・モントリオールと続くGSEFの運動は、世界の社会的経済をつなぐ役割を果たしつつあります。

では社会的経済とはなにか。世界の評価は二つに分かれています。第一は、社会的経済は資本主義社会の一部として資本主義と共存していくという考え方です。第二は、資本主義社会は崩壊し、その後の新たな経済体制として社会的経済が発展していくという考え方です。私は第二の考え方です。社会的経済は資本主義経済とはまったく異なる新たな文明社会の出発点になると考えています。

なぜなら、社会的経済の理念や価値観は資本主義社会とはまったく異なるからです。社会的経済は民主主義、参加、公正、連帯などの理念・価値を基礎にしているからです。世界の実態を調査してわかったことは、これらの理念・価値は制度、システム、原則などとともに経済体制の形をとりつつあります。世界はそこまで来ているのです。その例は、カナダ・ケベック州、スペインのモンドラゴン、イタリアのイモラ、オーストラリアのマレーニなど世界各地にみることができます。社会的経済や協同組合コミュニティの町や地域ができているのです。

◆日本では

海外では社会的経済は事業、運動、研究の諸側面で発展しつつありますが、残念ながら日本はこれまで社会的経済とは無縁の国であるかのような存在でした。日本にも社会的経済を構成する協同組合や非営利組織は全国に数多くあるのに、何故なのでしょうか。

第一の理由は、世界の潮流に日本の人びとが気付いていないということがあります。非営利組織は共通の理念や価値観を持っているはずなのですが、その非営利組織がばらばらで相互につながっていません。非営利組織は孤立し、競争社会の中で衰退さえしつつあります。非営利組織は単独で株式会社と競争しても勝ち目はありません。

そうではなくて欧州のように連帯の力を結集して競争社会と立ち向かうことによって発展の道が可能になるということに気づかなければなりません。

第二の理由として、非営利組織に対する日本政府の態度があります。日本政府は市民社会が権力を持つことを望んでいないために、非営利組織を分断し統治するという隠れた方針をもっています。市民社会を支援するよりもむしろ国家権力を強める方向に向っているのが現実の姿です。

その典型がいま政府が進めている「農協改革」です。政府の農協改革は、単に総合農協を解体し農業分野に株式会社の参入をもくろむだけではなく、非営利組織全体が市民社会としての権力を持たないように分断・解体して統治するという方針の一部といえます。

しかしこのような自民党の方針は文明の流れに逆行しているために、原子力発電の推進と共に、日本経済を世界の三流国に転落させる方向でもあります。世界的文明論者ジェレミー・リフキンが日本に警告しているように、現代は資本主義パラダイムの大転換時代にあり、世界は株式会社に代表される垂直的組織から協同組合に代表される水平的組織の時代に移っていく時代です。エネルギー産業にも大転換が待ち構えており、石油・原子力の時代が終わり自然エネルギー価格がゼロ価格に近づく時代に突入していくはずです。

◆多重・多層のネットワークをつくる

世界の潮流から孤立した日本の現状を変えるにはどうしたらよいでしょうか。ここで提案するのは、人と人をつなぎ、それを基礎にして組織と組織を横につなぎ、ネットワークを拡大していく方法です。一挙にはできませんので、段階を踏んで実現します。キーワードは「協力・連帯」「理念・価値の共有」です。

まず、市民の力で地域の課題を解決していくことから始めます。これが第一段階です。すでに全国各地で行なわれていることでもあります。これを活用します。市民が横につながり、ネットワークを形成し、協力し合って地域の課題を解決し、市民の政策形成能力を高める。課題としては、生活困窮者の支援、コミュニティの再生、農業・林業の再生、環境の保全など生活圏に横たわるさまざまの問題が考えられます。

ネットワークの第二段階は生活圏を超えた広域ネットワークです。ここでは、社会的経済のメンバーである非営利組織をつないだネットワークを形成することがテーマとなります。第一段階と第二段階のネットワークが混在している場合もあります。これも全国にいくつもの事例がありますが、産業別労働組合と中小企業協同組合が連帯して諸課題に取り組んでいる近畿生コングループの活動も、この第二段階のネットワークに当たります。

広域ネットワークから全国ネットワークへ、というのが第三段階です。わたしは、広域ネットワークのコアができたら、全国ネットワークを形成する時期がきたと判断します。コアができるとは、社会的経済の理念・価値について非営利組織の一定のグループが自覚し、理念・価値を共有することです。しかしそれだけでは十分ではありません。理念・価値を実現するための制度や仕組みづくりが動き出していることが必要です。

全国ネットワークとは、広域ネットワークのネットワークです。ここで重要なのは、全国ネットワークと広域ネットワークは上下関係ではないということです。社会的経済の経済の基体制はあくまで民主主義と連帯が基本なのです。全国ネットワークが形成されることで、全国レベルの課題が実現可能になります。全国ネットワークができれば社会的経済の基礎が築けます。それはさらに国際ネットワークへとつながっていきます。連帯しあえばすべて実現可能です。

社会変革の基礎を学ぶ砦として
大阪労働学校・アソシエ 第2回総会

一般社団法人　大阪労働学校・アソシエ（本山美彦 学長）は、2016年12月13日、大阪市西区の学働館・関生で第2回総会を開催。

同校は同年4月に、関西地区生コン支部50周年事業の一環として、次代を担う人材育成と労働運動・協同組合運動などの再生と活性化を図る目的で開校された。11月からは「労働講座」もスタート。労組員は勿論、市民などの公開聴講者も受け入れている。

総会では、労働者のための学校という性格を前面に出し、平日講義は午後開講、世界史と日本史を統合的に理解する「歴史再読講座」の開設、共生・協同社会を展望した「連帯経済論講座」、過去の労働運動の成果を継承する「労働運動の歴史に学ぶ講座」など、新年度へ向けての各講座案が打ち出された。

また、学校の宣伝ための出版物作成など、広報活動の重要性が確認された後、新年度行動全案件が承認された。



Kinbara
近畿バラセメント輸送協同組合
近畿圏600台のセメント輸送ネットワークで
安全・効率化に貢献します。
Kinbaraは安心のマーク
理事長　毛屋和重
〒533-0032　大阪市東淀川区淡路3-6-31
協同会館アソシエ 2F
TEL 06-6328-4700　FAX 06-6328-4701
近畿生コン関連協同組合連合会　加盟（近バラ協・輸送協・近圧協・阪神協）

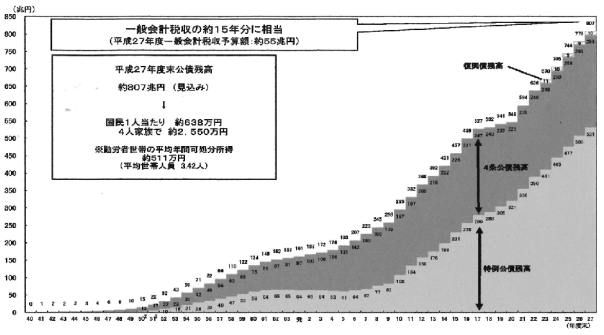
兵庫県中央生コンクリート協同組合連合会
会長　溝尾 廣治郎
〒650-0037 神戸市中央区明石町44番地 神戸御幸ビル 4F
TEL 078-331-1128　FAX 078-331-1206
安心と信頼の品質を追求します。
高品質の生コンクリートを安定供給。
神戸生コンクリート協同組合
TEL078-331-1201
北神生コンクリート協同組合
TEL079-563-3151

前参議院議員

尾立源幸氏に“税をきく“

集団で暮らしていくためには、色々な形で支え合っていかなければ生活はできません。個々ではできないことでも、皆が協力すれば、よい街づくりも実現できます。教育、子育て、福祉、医療などをするためには、資金が必要になります。会費という意味合いで皆が出し合って資金にします。この考えが「税金」です。税金は、世界のほとんどの国で採用されています。

増え続けた借金　〔グラフ 1〕



未来のために、解決すべきこと

歴史を遡れば、昔は支配者が自由勝手に税率を決めていました。そのため、戦争にまで発展したこともあります。

現在は、民主主義なので、基本的に国民の代表が議論し、多数決で決めています。

では税をどのように負担するのか、二通りの考えがあります。一つは、払える能力に応じて税を負担する「応能負担」。もう一つは、生活をする上で色々なサービスを利用するために、一定額を負担する「応益負担」です。稼いだ人も、稼いでいない人も、その土地で暮らしていれば支払う「住民税」はこれに当たります。

金額の決め方は基本的に、「税金」は会費という考えなので、1年にかかる費用を皆で負担してやりくりします。例えば、今年、道路を作ります。その道路がおおよそ40年使えると考えると、40年先の人も道路を利用するわけです。そうすると費用は、現在の人だけに負担を強いるのではなく、40年先の人たちにも負担をしてもらうことになります。現在の人の負担分に足りない部分を、40年にわたって払うときに「国債」というもので補います。

分割にするときに発行するのが「建設国債」といい、将来使う道路や橋、学校の校舎などが当てはまります。いわゆる借金です。

もう一つは、その年度内で使い切る公務員の人件費や、医療費などの「赤字国債」。生活費のようなものです。

グラフ1にある四条国債（財政法第四条において、公共事業費などの財源に当てるために発行される）が、建設国債に当たります。特例公債は赤字国債。将来世代に借金だけをのこします。

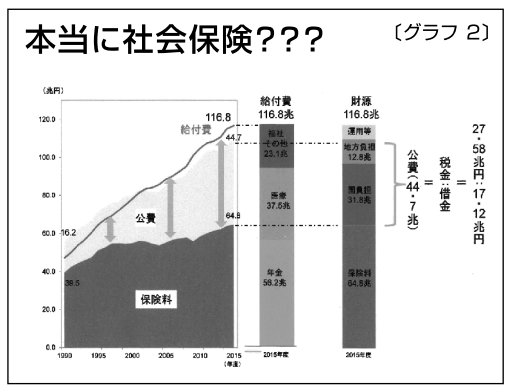
ところが、赤字国債は1989年から93年まではありません。この頃は道路や橋を作るために必要でした。2005年くらいから2つの足並みが揃わなくなっています。その差額を借金で埋め合わせするようになりました。常に若干の差はありますが、1989年からはずっと借金が増え続けています。

反対に、グラフ2を見ると建設国債が少なくなっています。バブルが90年くらいに終息して、景気がどんどん悪くなってきたからです。同じころ、企業や個人に対して減税も開始されました。要は、歳入と歳出が大きく違ってきたためです。

一方の特例公債が膨れ上がっているのは、50兆円位の国民の社会保障費（年金、医療、介護、生活保護なども含む）でした。それが2003年には、116兆8千円と2倍以上になっています。年金や医療費も、税金が使われています。

（次号に続く）

本当に社会保険???　〔グラフ 2〕



組合訪問　ソリューション協同組合　海を越えて学び成長へ

大阪府堺市に外国人技能実習制度を利用し、ベトナムを中心に海外技能実習生の若者を受け入れ事業をするソリューション協同組合がある。当初は「建設ソリューション協同組合」として建設業を主な会員として設立したが、建設以外の業種からの参入希望があり、約2年後の2014年7月に組合名の「建設」を外して改称し、新たなスタートを切り、職場に新しい風を吹き込んでいる。


新 雅志 理事長

ソリューション協同組合　企業は、技能実習生が働きながら日本の産業、技能、技術、知識を学び、母国の産業発展で活躍できる人材の育成に取り組んでいる。

理事長の新（あらた）雅志氏は、数年前に日越関西友好協会主催のベトナム視察訪問団に初めて参加し、ベトナムの若者の勤勉さに触れた。ツアー後、ベトナムと関わる仕事はないかと考え、まず日越協会の正会員になった。そこで技能実習事業をする企業に話を聞く機会があり、すぐに「これしかない！」と思い、何度もアドバイスやノウハウを聞き、今の事業に乗り出したんです」と話した。

その後、2回目の日越協会ツアーに参加したとき、政府要人との会談の中で、「私は大阪の堺市でベトナムの技能実習生を迎え、日本の建設関係をメインに仕事の受け入れをしています。そうすると費用は、ベトナム総領事館とは隣組です」と挨拶したので、インパクトがあったと当時を振り返る。実際、オフィスの斜め向かいに在大坂ベトナム総領事館はある。

職場の活性化に一役

技能実習制度は、ベトナム国内で、面接と実技をする。例えば、企業が3名を希望すると、現地法人が経験のある人材を3倍ぐらい募集し、面接を行なう。実技では、建設関係でいうと、25キロの砂袋を担ぎ20m位の距離を往復で走る。鉄筋業では足場の組み立てなど。選考後、合格者3名は、ベトナムで160時間以上の日本語レッスンと日本文化を学ぶ。日本入国後は、研修所で120時間以上の日本語や生活習慣などを受講する。1か月後に、受け入れ先企業に配属される。そのころには、自己紹介と片言の日本語ができるようになる。


とび作業実技試験（足場組み立て）


建築塗装実技試験


建設機械施工実技試験（バックホー運転）


鉄筋施工作業実技試験

運を味方につけ

ベトナム総領事館の現総領事、チャン・ドゥック・ビン氏が赴任して初めての仕事が、理事長との懇談だった。総領事は「日本で製造業、農林水産業、技能実習事業の3つを進めたい」と話したとき、理事長は「まさしく、うちは三本柱の一つ」だ、運が味方していると思ったそうだ。

近い将来、未来のベトナム青年が働く姿を思い描いて、ソリューション協同組合は、更なる事業に取り掛かっている。



生コン会社専用システム

生コン業界を知り尽くした当社が、現場の声に耳を傾け、
その要望のすべてに配慮した「リバティ」シリーズ。
使い勝手の良さに自信あり！ 導入の効果に自信あり!!
多数の導入実績もあり、安心して導入いただけます。

Liberty Series

品質・出荷・販売管理、GPS、協同組合システムなど…
「リバティ」シリーズは、各ソフト間の高い連携により
トータルに効率的な管理が可能になります。

株式会社 リバティ ☎(078)733-8080
〒653-0055 兵庫県神戸市長田区浪松町5丁目1-19 Fax.(078)733-9090
URL http://www.liberty-kobe.co.jp E-mail info@liberty-kobe.co.jp

近畿生コン輸送協同組合

理事長　大橋　邦夫

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3-6-31
協同会館アソシエ2F
TEL06(6328)5900 FAX06(6328)6400

落語　アソシエ寄席　開催



1月14日、協同会館アソシエで落語「アソシエ寄席」が開催された。

冒頭、主催者を代表して、ノーマライゼーション協会・山中多美男理事長から「大阪で江戸時代中期から親しまれてきた落語が、昭和40年代頃から漫才に押されて元気がなくなってきた。しかしここ最近、落語人気が復活してきつつある。

この東淀川にも2名の落語家が在住され、福祉施設でボランティア活動をされるなど、地域と深い繋がりをもっていただいている。その方々を盛り上げていくことで、地域の活性化にも繋がる様になれば。いわゆる『街興し』の一環として淡路地区、とりわけ淡路商店街を活気づけたい。その顔見せとして、本日の寄席となった淡路・西淡路地域活動協議会と淡路商店街の協力による取り組みとして、どんどん盛り上げていきたい」と挨拶。

その後、演目へ。

初めに奈良在住の若手、桂鹿えもんさん（写真左）が、なぞ掛けと古典落語「寿限無」を披露。次に東淀川区在住の桂和歌ぽんさん（写真右）は、相撲甚句と古典落語の「十徳（じっとく）」を。最後にアソシエ近隣の東淀川区柴島（くにじま）在住の林家卯三郎さん（写真中）が、古典落語「抜け雀（ぬけすずめ）」を披露。70名の来場者があった会場は当日の寒さを吹き飛ばすような大きな笑いに包まれた。

会場に駆けつけた金谷東淀川区長は「上方落語は古くから庶民の楽しみの一つとして親しまれてきた。本日の演題でも解るように、人と人とのコミュニケーションに重きを置き、『掛け合い』と『間』を笑いにする。この様な素晴らしい取り組みが今後も末永く続く様、個人的に期待します」と飛び入りで挨拶を行なった。

このアソシエ寄席を淡路地域で引き継ぐということで、淡路商店街の小川会長は「地域、商店街活性化のため、この寄席をもっともっとお大きくしていきたいと考えている」と挨拶。

最後に、淡路地域社会福祉協議会の森川会長から「今の子供達を見ていてもスマホやパソコンにテレビと、個々に遊ぶ姿が目立つ。コミュニケーションの場としてこの寄席に来て、暖かくなってもらいたい」と締めくくった。

次回は、4月19日14時から淡路本町商店街「昭和湯」にて「ワンコイン寄席」として開催される。

経営者セミナーのご案内



組合総研・経営者会共催による第16回経営者セミナーを催します。

講師に日経BP社・日経おとなのOFF副編集長で、京都・浄土宗・正覚寺の副住職、鵜飼秀徳氏をお迎えし、ご講演をいただきます。

近年、都心部への人口流出に伴い地方の過疎化の進行は、社会構造的問題で、死生観の変化をもたらしている。社会構造的問題と歴史的問題はやはり複合的に影響している。都市部での納骨堂ビジネスなど、経済至上主義の中で人は、「生きるとは何か」が見えなくなった。私たち一人ひとりの問題として考えるきっかけをご講演いただきます。

日　時：2017年2月17日（金）17時30分～19時
会　場：協同会館アソシエ（ホール2）
参加費：お一人様　5,000円
タイトル：無葬社会
講　師：日経BP社・日経おとなのOFF副編集長、京都・正覚寺・副住職　鵜飼秀徳

コンクリートのある風景 108



"1㎥"のお客様でも粗末にしない
宝ヶ池建材株式会社（京都市左京区）

宝ヶ池建材株式会社（二股純一　代表取締役社長）を訪れたのは、この冬一番の強い寒気の影響で近畿各地でも降雪のあった日。「こんなに降るのは近年では珍しいことです」と今回お話しをうかがった野川家豊取締役も笑った。

同社設立の当初は建材の卸をしていたが、その後の時代の変化に伴い需要の多くなってきた生コンクリートを扱うようになった。時代が進むにつれて近隣に住宅も増え、街中での工場の操業が難しくなってきたため、1986年に工場機能を現在の場所へ移転した。

昨年4月に京都中央生コンコンクリート協同組合が設立され、同社も加入。「最初は色々な試行錯誤があって心配ばかりが先に立ちましたが、今は『みんなで頑張ろう』と一つになったという段階ですね。色々な反発や批判もありましたが、入って良かったと感じます」と協組加入の意義を語った。

「会社のスタンスとしては『1㎥のお客様でも粗末にしない』ということです。それが弊社の生命線です。良い商品を現場に納入して、現場対応などでお客様に迷惑をかけないようにしっかり仕事をする。これが弊社の良さかと思います。そのことが、景気変動があっても、お客様から仕事をコンスタントにいただくということになり、大きな売り上げの落差の解消となりますから」と話す。

「昨年からは価格もだいぶ戻ってきて、待遇面でも正常化しています。働く人が何年後かに、『宝ヶ池にいて良かったな』と思えるような会社にしたいと思います」と語る。「毎日の仕事で疲れて、ただ家に帰るというのではなく、自分の励みになるような仕事にしたいですね。よく社員に言うのですが『会社のために命を落としたらあかん。家庭のため、家族のために命をかけろ』と。頑張ってくれるのはありがたいですが、やはり家族が大切です。家族のために頑張ることが、形を変えて会社にも良い結果をもたらすと思います」という。



同社は地域とのかかわりの中で、地元の少年野球チームの応援をしている。「ただ生コン作って儲けるということではなく、なんとか地域に貢献出来ないかと考えました。色々な地域のお客様から仕事をいただいて、儲けさせてもらうからには、僅かですが何らかの形で地域にお返しをする。それがトータルとして弊社が栄えていくことにもなりますし、そこは大事にしていきたい」と話す。

『信頼に値する迅速正確な仕事』。これが同社の企業姿勢だ。この社風は社員相互の信頼関係から生まれ、お客様から寄せられた厚い信頼関係によって育まれたもの。宝ヶ池建材の最大の宝がここにある。

工場データ

操業年月日：1964年5月
従業員：18名　コンクリート主任技士　3名
　　コンクリート技士　6名
ミキサー：強制二軸　容量2500ℓ
運搬車保有台数：19台

提言文芸

~投稿歓迎~

・真珠湾？　南京どうする　安倍首相（山辺の赤の他人）
・松井知事　万博・カジノ　依存症（ルビーの指輪）

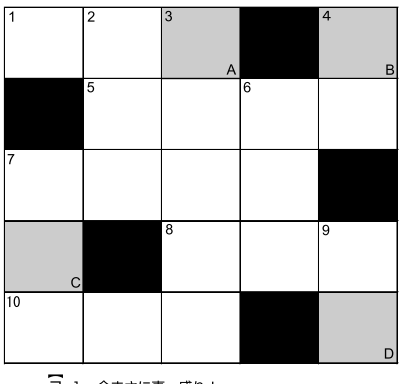
真珠湾に行った安倍首相ですが、結局、真珠湾攻撃に対する反省や謝罪はしませんでした。歴史問題の和解を真に追求するのであれば、行く場所が違うのでは。万博にカジノ。すでに皮算用が始まっているようです。それを依存症というのでは。

戯画



2月のクロスワード

クロスワードパズルを解いて、A～Dに入る文字を並び換えて出てくる言葉を答えてください！



【タテのカギ】
2．英語ではテンダーロイン。関西ではヘレ。仏語では？
3．札幌が有名。
4．いまひとつ○○が良くなかった…
6．100マイナス1は？
7．飛び石連休の時に出現します。
9．預金して貰えるのは利息。では貯金して貰えるのは？

【ヨコのカギ】
1．今まさに真っ盛り！
5．顔なじみです。
7．横断幕は横長。では縦長なのは？
8．心の中で思っていること。仮定する気持ち。
10．ズボンの裾上げは○○○縫い。

〔正解者6人に抽選で図書券進呈〕　お名前・住所・電話番号・答えを葉書、FAX等に記載し組合総研編集部に2月20日までにお送り下さい。提言へのご意見なども。お待ちしております。

提言131号のクロスワードはお休みしました。